

第89回 JIA アーバントリップ

テーマ 富士山麓に建つ建築を訪ねて Vol2

第89回アーバントリップの企画は、2013年に「富士山_信仰の対象と芸術の源泉」としてユネスコは富士山を世界文化遺産に登録しました。そこで、2017年に富士山の保護・保存・整備のための拠点、学術調査の施設として「静岡県富士山世界遺産センター」が作られました。今回は、その作品から富士山を中心として反時計回りに今年竣工したばかりの椀から着想された「むく保育園」、アート、食事及び花を楽しむ複合施設として2002年にオープンした、クレマチスの丘に建つ「ヴァンジ彫刻庭園美術館」、をクレマチス満開の初春に訪ねたいと思います。



静岡県富士山世界遺産センター



むく保育園



ヴァンジ彫刻庭園美術館



ベルナール・ピュフェ美術館

1、静岡県富士山世界遺産センター 2017年竣工

- 住所 : 静岡県富士宮市宮町5-12
設計者 : 坂茂建築設計
規模 : 地上5階、延床面積3,410.98㎡、S造
特徴 : 逆さ富士を模した木組みを水盤に投影する仕掛けになっており、浅間大社とのネットワークを形成している。施設内部はらせんスロープになっていて、壁面に投影される富士登山道の風景を見ながら、富士登山を疑似体験できます。

2、むく保育園 (運営 ひかり株式会社) 2018年竣工

- 住所 : 静岡県富士市大淵3800-9
設計者 : 手塚貴晴+手塚由比 手塚建築研究所
規模 : 地上1階、延べ面積403.51㎡、W造
特徴 : 弁当の製造・販売などを手がける企業による企業主導型保育園。
お椀の形をモチーフとした円形の各室が軒を介して渡れるように配置され、児童の行き止まりのない回遊動線を編み出している。

3、ヴァンジ彫刻庭園美術館 2002年竣工

- 住所 : 静岡県長泉町クレマチスの丘347-1
設計者 : ラウムアソシエイツ/宗本順三、柴原利紀
規模 : 地下1階 地上1階、延べ面積1,932㎡、RC造一部S造
特徴 : イタリアの現代具象彫刻家ジュリアーノ・ヴァンジの世界で唯一の個人美術館として2002年に富士山に連なる愛鷹山麓の中腹にあるこの地に開館。回遊型庭園の要素を取り入れ、ショップ棟、展示棟、レストラン棟に美術館機能が分散されている。

4、ベルナル・ビュフェ美術館 1973年竣工

- 住所 : 静岡県長泉町クレマチスの丘515-57
設計者 : 菊竹清訓建築設計事務所
規模 : 地下1階 地上1階、延べ面積1,138㎡、RC造
特徴 : 本館は、立方体、円柱、三角柱を組み合わせたダイナミックな造形をしています。本館の内部は4つの展示室からなり、大小さまざまな作品の展示ができるよう配慮され、機能的かつ個性的な空間となっています。

2019年3月7日(木)

見学スケジュール :

- 8:30 集合 新宿 工学院大学新宿キャンパス前広場 (8:45 出発)
11:00~12:00 見学 静岡県富士山世界遺産センター
12:10~13:10 移動および昼食
13:40~14:40 見学 むく保育園
15:30~16:35 見学 ヴァンジ彫刻庭園美術館
16:40~17:20 見学 ベルナル・ビュフェ美術館
18:30 解散 新宿(集合場所と同じ) 予定